- <1>「参考」の意味及び文法仕組み解説 (P2)
- <2>「参考」はビジネスシーンに応じる使い方(P3~P14)
 - ①他人からアドバイスを受ける際の返事(P4~P9)
 - 「参考にします」(P4~P5)「参考になります」(P6~P7)
 - •「参考にさせていただきます」(P8-P9)
 - ②相手に参考にしてもらいたい場合の言い方(P10~P14)
 - 「参考にしてください」(P10)「参考になればと思い」(P11)
 - •「ご参考までにどうぞ」(P12) •「参考になさってください」(P13)
 - ・「参考にしてください」の類語(言い換え表現)(P14)
- <3>参考出典情報(P15)

「参考」の意味

[名](スル)

「参考」とは何かをしようとするときに、他人の意見や他の事例・資料などを引き合わせてみて、自分の考えを決める手がかりにすること。また、そのための材料。 ーー【デジタル大辞泉の解説】から引用

https://kotobank.jp/word/%E5%8F%82%E8%80%83-513340

日常的によく使われる「参考」の応用例

- ☆ 参考文献
- ☆ 前例を参考にします。
- ☆ 過去の資料を参考にして、今回の資料を修正します。
- ☆ すごくいいですね!御社の対応を参考にさせていただこうと思います!
- ☆ 参考になりましたら幸いです。
- ☆ ご参考までに、当社の事例をご紹介いたします。

日本語の辞書を引いても「参考する」という動詞はありませんので、 正しくは「参考にする」です



誤用	×参考する	×ご参考ください
正しく	○参考にする	○参考にしてください

▼ 「参考にする」文法のしくみ解説

「参考・に・する」(名詞+助詞+他動詞)

「AをBにする」といったようなA(直接目的語)の"主語の意思決定を

ともなう状態変化"を表す表現と考えます。

この場合、B(間接目的語)の後に「に」が置かれます。

助詞「に」は変化(転化)の結果を表すものです。

私(主語)は資料(A:直接目的語)を参考(B間接目的語)にする。



私はいままで参考にしていなかった資料を、参考にする。

意思決定をともなう状態変化

「参考」はビジネスシーンに応じる使い方

ビジネスシーン	No.	用法	区分	目上の人に使う 可否	詳細記載ページ
1. 他人からアドバイスを受ける際の返事	1_1	参考にします	丁寧語	×	P4∼P5
	1_2	参考になります	丁寧語	×	P6∼P7
	1_3	参考にさせていただきます	謙譲語	×	P8-P9
2.相手に参考にして もらいたい場合の言 い方	2_1	参考にしてください	丁寧語	×	P10
	2_2	参考になればと思い	丁寧語	0	P11
	2_3	参考になれば幸い 参考になれば幸いです 参考になりましたら幸いです	丁寧語	0	P11
	2_4	ご参考までにどうぞ	丁寧語	0	P12
	2_5	参考になさってください	尊敬語	0	P13

1_1「参考にします」の使い方

「参考にします」とは手がかりにすること。考えたり決定したりする際に判断材料の一つとすること。相手からアドバイスや資料などをもらった際に使われます。

----「weblio辞書」から引用

https://www.weblio.jp/content/%E5%8F%82%E8%80%83%E3%81%AB%E3%81%99%E3%82%8B

「参考にする」応用例

- 公部下の意見を参考にする。
- ☆その資料を今後の参考にする。
- **ぬ**この図面を参考にする。
- ☆彼は私たちにこの本を参考にするようにと言った。
- ☆逆算化傾向の予防策を参考にして部下を評価する。
- ☆冷蔵庫を修理するなら取扱い説明書を参考にしなさい。
- ☆医師はこの画像を参考にしながら、生検針をどこに挿入するかを決定する。

1_1目上の人に「参考にします」と答えるのは失礼!

目上の人(先輩や上司など)に相談や質問をしておいて、アドバイスをされたときに、「参考にします」と返事するのは失礼に当たることです。なぜ失礼になるのか以下のように解説します。

◆「参考にします」と答えると失礼に当たる理由:

「参考にする」はそのアドバイスを自分の判断材料の一つとして取り入れますということで、アドバイスをくれた人の考えよりも自分の考えが優位で、アドバイスを受け入れるか受け入れないかはあくまで自分が決める、という姿勢に捉えられます。

場合によってはアドバイスを取り入れてもいいというような、相手を自分より下に見ていると取られかねない印象があります。「生意気だな」なんて目上の人を怒らせてしまうかもしれません。

----MAG2NEWSから引用

https://www.mag2.com/p/news/358734

目上の人からアドバイスをもらった場合の適切な答え(言い回し)

- ☆助かりました。
- ☆ また行き詰まったときには相談させてください。
- ★ 貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後と もよろしくお願いいたします。
- ☆ ○○についてのお話、大変ためになりました。これから もぜひご教示ください。
- ★ 先日は貴重なお話をうかがうことができ、非常に勉強に なりました。

相手からアドバイスや資料などをもらった際に、

「参考にします」を言うと、受け取る相手によっては「せっかく親身にアドバイスをしたのに補足としか思ってくれていない」と怒ってしまう方もいます。

 \Rightarrow

だから、「参考にします」ではなく、左側のように言葉を言い換えたら、相手のアドバイスや資料などが自分のために役立つものである、自分の学びにつながるということを強調し、感謝の言葉などと合わせて使うことで相手に感謝している気持ちを伝える謙虚な印象になります。

1_2「参考になりました」の使い方

「参考になりました」は分からない事や誰かに頼ったり、質問したりして、相手から何かを教わったり、アドバイスを受けたり、手本を見せていただいたりした時に使われます。

- ◆「参考になりました」の意味:
- ①:相手に感謝の意を伝える言葉
- ②:納得した事を示す敬語

- ◆電話・会話編での使い方:
 - ①仕事の間違いを指摘された時
 - ②アドバイスをもらった時
 - ③勉強会に出席した場合
- ◆メールでの使い方
 - ①他部署の担当者に御礼のメールをする場合
 - ②お世話になった方へのメール

「参考になりました」解説から引用 https://belcv.jp/39655

「参考になりました」応用例

会話での例文:

☆今回の勉強会に出席させて頂き、わが社の新プロジェクトに活かせるようなお話をたくさん聞く事が出来、非常に有益な時間を過ごす事ができました。大変参考になりました。

メールでの例文

☆本日はお忙しい中、打合せの時間を作って頂き、誠にありがとうございました。○○さん(取引相手)との打合せは私にとって大変参考になることが多く実りのある打合せでした。今後とも引き続きよろしくお願い致します。

1_2目上の人に「参考になりました」を言うのはNG

「参考になりました」は時と場合によっては失礼な意味合いに取られる場合もあります。

◆「参考になりました」を言うのは失礼に当たる理由:

「参考になりました」は「相手の意見が手がかり(ヒント)になりました」という意味で捉えられれば、問題はありませんが、

「相手のご意見は自分の判断材料の一つとする」というと意味で捉えられれば、

「(自分の考えは既に決まっているので)あなたの意見は足しにします」

「参考程度に聞いておきます」といったニュアンスが感じられ、

「参考程度にしかならなかったのか」と思わせてしまいますので、

上から目線のような印象を相手に与えかねません。

ゆえに、目上の人に対して使用するには失礼な表現となります。

----マイナビニュースから引用

https://news.mynavi.jp/article/20180828-681885/

目上の人から教わった場合の良い表現

貴重なご意見をありがとうございます。大変勉強になりました。

○○さんと一緒に仕事をすることができて、非常に勉強になりました。 先日の講義、しっかりと学ばせていただきました。

目上の人に対しては、「**勉強になりました**」という表現が正しい敬語となります。

「**勉強**」という言葉には「学ぶ」「経験を積む」といった意味があることから、「あなたの意見を聞いて知識が増えました」というニュアンスが強く、相手に良い印象を与えることができます。

1_3「参考にさせていただきます」の使い方

- ・「参考にさせていただきます」とは、「参考にします」の謙譲語(こちら側がへりくだって、相手側を高める 表現)です。「参考にします」よりは敬意の入っている言葉になります。
- ・「させていただきます」は、「相手に許可を得て、ある行為を遠慮しながらすること」を意味する謙譲語です。 つまり、相手に何か参考になるような助言をもらったり、資料をもらったというような場面で相手との関係性、相手に求めることなどを考慮しながら、相手に敬意を示して「参考にさせていただきます」と使用します。

 \Rightarrow

 \Rightarrow

 \Rightarrow

- ◆「参考にさせていただきます」を使うビジネスシーン:
 - ①感謝の気持ちを伝えたい時
 - ②依頼の意向を伝えたい時
 - ③お断りの判断を伝えたい時

----trans. Biz_HOME_ビジネスワード_日本語表現から引用 https://biz.trans-suite.jp/2467

ビジネスシーン(メールや会話)のふさわしい応用例

先日の研修会では学ぶべき点が多く、素晴らしい時間を過ごさせていただきました。これからの業務遂行の参考にさせていただきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

職場環境向上のため、現状の問題点を洗い出したいと考えています。皆様の希望がありましたら参考にさせていただきたいので、アンケートにご協力くださいましたら幸いでございます。

これまでお送りいただいた資料は、毎度参考にさせていただいておりました。ただ、この度、他の案件で進行することと決まりましたので、今後の資料送付は停止いただきたく思います。

①の応用です。

感謝の気持ちがあって使う場合には、一方的であっても 失礼にはあたりません。

②の応用です。

何かを依頼する際の理由として、参考にしたい旨を取り入れると、相手からのイエスを引き出しやすくなります

③の応用です。

お断りの際にも「参考にさせていただきます」は使えます。 どうしても参加できないミーティングや案件に対しての連 絡メールなどで、使います。

1_3「参考にさせていただきます」は目上の人には使わない方がよい表現です

「参考にさせていただきます」は「参考にします」よりは敬意の入っている言葉になります。しかし、もともとの「参考」が持つ意味(「自分の考えを決める上で、手がかりとさせていただきます」)から考えると、目上の方に使うのは失礼にあたる場合があります。

◆「参考にさせていただきます」というのは失礼に当たる理由:

 \Rightarrow

 \Rightarrow

 \Rightarrow

 \Rightarrow

- ・「参考」は人の意見や事例などを「自分の判断の足しにする」という意味であり
- ・「させていただきます」が回りくどい印象になるため
- ・「させていただく」も、相手に有無を言わせずに一方的に行動と意向を宣言するのに使われる言葉ですので、 少々挑戦的な側面を含んでいます。

----trans. Biz_HOME_ビジネスワード_日本語表現から引用 https://biz.trans-suite.jp/2467

敬語表現に置き換えて使う言い回し

お手本とさせていただきます。

「手本」とは、物事のスタートにならう先例や、人・モノのことを指します。 意味は「参考」と似ていますが、接頭辞「お」をつけて、より丁寧な表現に変えて使われることが多いです。

★ 活用させていただきます。

「活用」とは、物事の価値を生かしながら、うまく利用することを意味します。若干「参考」のように、相手の提供してくれたものを踏み台にするニュアンスになってしまう恐れがありますが、お礼の言葉と組み合わせるなどすれば大丈夫です。

☆ 参照させていただきます。

参照」とは、物事を照らし合わせながら参考にする、という意味のある言葉です。「参考」も、意味の中に含まれています

✿ 勉強させていただきます。

「勉強」は、対象物を前に、努力するという意思表示になります。今はできないことであっても頑張ってできるようになりたい、という表現になりますから、好印象も与えつつ、使い勝手もいい言葉です。

2 1「ご参考ください」は誤用です!正しくのは「参考にしてください」です。

- ・「参考する」という言葉自体がないため、「ご参考ください」との日本語の使い方として誤っていることになります。
- ・「参考にする」が原型なので、参考にしてもらいたい場合は「参考にしてください」が正しい表現となります。
- ・しかし「参考にしてください」は丁寧な言葉ではありますが敬語ではありません。 「参考にしてください」の「ください」は丁寧語ですが、あくまでも命令文なので、参考を相手に強制するニュアンスがあるため、上の方や上司に使う場合は適切ではありません。

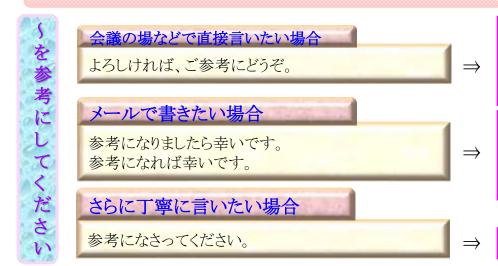
----「HOME〉ビジネス用語」から引用

https://career-picks.com/business-yougo/gosannkoukudasai/

例文

- ☆あなたがその書類に記入する際、必要に応じてこれを参考にして下さい。
- **ぬ**ロールモデルを紹介することにより、社員にこれからのキャリアの参考にしてもらう。

■ ビジネスシーンに応じて、「参考にしてください」の柔らかしい表現



こちらは柔らかい印象を与える敬語表現です。 参考にするかどうかの決定権はあくまでも相手に委ね、 相手に敬意を払いながらも、参考資料をすすめること ができます。

こちらも柔らかい印象を与える敬語表現です。 参考にするかどうかの決定権を相手に委ねています ので、負担に感じさせずに参考資料を添付して送るこ とができます。

より丁寧な敬語表現です。

2_2「参考になればと思い」の使い方

「参考になればと思い」は、「この資料が役に立てば嬉しいと思って」という意味に解釈できます。

----「参考」の適切な使い方と例文

https://tap-biz.jp/business/business-terms/1008423#num_5224215

例文

・少しでも参考になればと思い、この資料を添付いたします。



とても丁寧な言い回しで、相手にも良い印象を与えることができます。

2_3「参考になれば幸い」、「参考になれば幸いです」、「参考になりましたら幸いです」

- 「参考になれば幸いです」は、「参考にしてもらえたら嬉しいです」という意味です。
- ・文末に使われている「幸**いです**」は、「こうしてもらえるとうれしい、ありがたい」という気持ちを表す<mark>謙譲語で、より~りくだった言い方</mark>になります。
- ・また、「幸いです」は「一していただけたら嬉しいです」という意味で、強制的なお願いではなく、相手に 参考にするかどうかを**委ねる丁寧な依頼表現**になり、より柔らかい言い回しであるといえます。

「幸い」の意味は

- ・その人にとって望ましく、ありがたいこと。幸福・幸せ
- ・運が良いこと・都合が良いこと
- そうしていただければ幸せだと人に頼む気持ちを表す。

----「参考」の適切な使い方と例文

https://tap-biz.jp/business/business-terms/1008423#num_5224215

応用例

- ・昨年のイベントの時の見積書を添付いたします。参考になれば幸いです。
- ・大した経験談ではありませんが、参考になりましたら幸いです。
- こちらの資料が参考になれば幸いです。



「参考になれば嬉しいです」という意味です

2_4「ご参考までにどうぞ」は会議で口頭で使う

・ご参考までにお目通しいただければ幸いです。

- ・「ご参考までにどうぞ」は会議で参考資料を配る口頭ではよく使われ、先に提示した資料などの補佐的な情報を提示する際や、判断材料のひとつとして、「よければ参考にしてください」「参考になるならどうぞ」という意味合いになります。
- ・「ご参考までに」は丁寧語で、接頭語「ご」は尊敬語で、「までに」に「事態がそれに限られている」とのことを表していて、「考える材料程度に限られますが」という**謙遜のニュアンス**が含まれていますが、「ご参考までに」は略語なので単体で使うと丁寧さが欠けてしまいます。「どうぞ」を付け加えて「ご参考までにどうぞ」とすると丁寧になります。より丁寧な言い方をしたい場合には、「ご参考までに目をお通しください」「ご参考までに資料を添付しました」などと、ビジネスシーンで略語を使用せずに**言葉を付け加えるとより丁寧な印象を与える**ことができます。
- ・「ご参考までに」という表現は、「<mark>参考にするかどうかは相手次第」であり、</mark>必ず参考にしてくださいという<u>強制ではなく、「よければ参考にしてください」</u>「判断材料の一つとして目を通して見てください」という感じの提案する意味合いになります。
- 「ご参考までに」は必ず見てもらえるか分かりません。なので、必ず目を通してもらう必要がある資料などに対しては、「ご一読ください」「ご覧ください」などの言い換え表現を使った方がいいです。
- ・「参考までに」は敬語ではないので同僚や、目下の人に対してカジュアルなイメージで使用することができる。

---出典:「日本語の意味と使い方」から引用 https://eigobu.jp/magazine/gosankoumadeni

「お目通し」という言葉は謙譲語「いただく」と使用すると丁寧な表現になり、尊

敬の意を表すことで、目上の人や、ビジネスシーンで使えます。

先に書いた文章や資料に文章の締めくくりとして文末に使用することがありま ・以上、ご参考までに。 \Rightarrow 参考程度に一度読んでみてください。 ·参考までに教えてください。 \Rightarrow 参考程度に簡単に教えてくださいと相手に質問をする場面で使用します。 応用例 丁寧語の「ご参考までに」よりさらに丁寧な言い回しを後に続けて相手に敬意 \Rightarrow ご参考までにご一読ください。 を示します。 参考程度に一度読んでみてください。 直接的に「きちんと読んでください」と伝えるよりも、相手の負担を考えた柔らか \Rightarrow ・ご参考までに資料をお持ちいたしました。 いお願いの仕方をすることができます。

 \Rightarrow

25「参考になさってください」

- ・「参考になさってください」の原型は「参考にして下さい」です。「する」の尊敬語「なさる」を使って<mark>敬語表現とし、「参考にしてください」をより丁寧にした言い回しです。</mark>
- ・目上の方や上司に対して参考にしてほしいことを伝える場合、資料を渡す際に「これを参考になさってください」と言って渡すと良いです
- ・ただし「参考になさってください」は、やや強制的な印象を与えてしまうこともありますので、上司や目上の方には使用しないほうがよいでしょう。目上の方に対しては、下記にあげる「参考になれば」などの表現をおすすめします。

応用例

【例文】

- ・メールにて弊社資料を添付いたしましたので、参考になさってください。
- ・こちらで弊社資料をお配りいたしますので、参考になさってください。
- ・資料はメールに基づく統計結果を表しています。どうぞ参考になさってください。

注意

※「ご参考になさってください」は正しい敬語ではありません。

「ご」は丁寧語、尊敬語です。

「なさる」は尊敬語です。

両方を同時に使うのは良くありません。

「参考にしてください」の類語(言い換え表現)

「参考」の意味をよく考えると、あまり目上の人には使わない方がいい言葉ですので、状況に応じて、適切な言い回しを考えて使えたほうがいいです。

 \Rightarrow

 \Rightarrow

 \Rightarrow

- ・詳細につきましては、別紙の資料をご参照ください
- ・ご参照のほど、よろしくお願いいたします
- ・ご参照くださいますよう、何卒お願い申し上げます。

「参照」・・・「書籍やネットなどの文章や図と照らし合わせて見ること」

「参考」・・・「書籍やネットに限らず、人からの話、テレビの情報などを手がかりとすること」

「参考」も「参照」も「照らし合わせて自分のやる方や考え方の手がかりにする」という意味では同じですが、

「参照」の方が「他のものと比べる」という語感が強いです。

「参照」よりも「参考」の方が対象の範囲が広いです。

- ご一読ください。
- ・ご一読くださいますようお願い申し上げます

「ご一読」は「目を通す」「読む」の尊敬語です。

「ご一読ください」には参考にするというニュアンスは含まず、様々な場面で使うことができます。

上司や取引先に資料を手渡しするときや顧客に契約書をメールするときにも使えます。

- ・よろしければご覧ください。
- ご覧になってください。

「ご覧ください」は「ご覧になってください」の省略形です。

「ご覧になってください」=「見る」の尊敬語「ご覧になる」+丁寧語「ください」で成り立っています。「ご覧ください」「ご覧になってください」は尊敬表現なので、目上の人に対して使うことが可能です。

参考出典情報

- <1>「名詞+する」の動詞で、「する」の前に来る名詞に規則は http://jp.tingroom.com/kaoshi/ryzwj/27088.html
- <2>「参考にします」と言ったら、上司がムッ!いったいなぜなのか? https://www.mag2.com/p/news/358734
- <3>目上の人に「参考になります」はNG? 正しい表現方法とは【ビジネス用語】 https://news.mynavi.jp/article/20180828-681885/
- <4>「ご参考ください」は誤った日本語!敬語の言い換え、類語「ご参照ください」との違い https://eigobu.jp/magazine/gosankoukudasai
- <5>「ご参考ください」はNG!正しく使う方法や言い換え表現を徹底解説 https://career-picks.com/business-yougo/gosannkoukudasai/
- <6>「参考」の意味と使い方!「参考にさせていただきます」の別の言い回しは? https://goiryoku.com/sankou/
- <7>「参考にさせていただきます」の意味と正しい使い方!類語も紹介 https://biz.trans-suite.jp/2467
- <8>「参考」の適切な使い方と例文 https://tap-biz.jp/business/business-terms/1008423#num_5224215
- <9>「ご参考までに」の意味とビジネスでの使い方、敬語、類語、英語表現も! https://eigobu.jp/magazine/gosankoumadeni
- <10>参照と参考の違い https://eigobu.jp/magazine/sanshou